

地域の特産品を守るため就農 未来に繋がる農業を目指して

「地域の特産品を守りたい」「耕作放棄地を再生したい」様々な思いを胸に農業生産の拡大を進める農業者の声をお届けします。

融 資



地域の特産品を絶や
したくないの思いから就
農、そして法人化へ

耕作放棄地を
未来へ続く農地へ

お客様の笑顔が見え
るやすらぎのスペース
の建設

WAKU・WAKUファーム 代表取締役 柳澤 誠一 さま

事業内容

- ・農産物の生産・販売
- ・農産物の加工・販売

・農産物直売所の経営

『農産物直売所 LOCAL』

埼玉県東松山市大字松山1781-1 TEL 0493-53-6352

JAの想い

本件に際し、思い・夢を改めて聞き取りさせていただき、今後も継続したサポートで柳澤様の夢の一助になれば幸いです。引き続き、生産者の方々の思いに寄り添い、持続可能な農業に向かい、お役にたてるようJAとしても取り組んでまいります。

地域の特産品を絶やしたくないの思いから 就農、そして法人化へ

農家に生まれたこともあり、東松山市の梨保存会から梨園の管理、栽培の依頼を受けたことをきっかけに農業をスタート。梨の栽培を始めた時には「勝手に育って収穫できるだろう」と思っていたが、ぜんぜん収穫できない。地元の農業公社が開催する梨塾に入門。栽培の勉強を続けていく中、梨の木が老いていたことがわかり植え替えも行った。「そのころからどんどん農業が楽しくなってきた。」生産が安定し軌道に乗ってきたことで近隣の耕作放棄地が気になり「自らの力で農地、産地を復活させよう」と行動を開始。

ひとりの力ではむずかしいことから賛同いただける仲間を募集した。仲間にはしっかりとした労働環境でがんばってもらいたいとの思いから法人化を決意。



耕作放棄地を未来へ続く農地へ

JAに相談に乗っていただきながら地権者と話し合いを行った。思いに共感いただいた方から農地を取得。現在は23,000㎡の農地で梨を始め30～40種の果樹栽培、季節ごとの野菜の栽培を行って

いる。従業員についても責任や、やりがいを持って効率の良い管理を行うことで、生産量も順調に推移、継続した栽培を行っていただける実感が持てた。



お客様の笑顔が見えるやすらぎのスペースの 建設

JA出荷を中心に販売していたが、お客様の声が聞きたい、直接手に取っていただきたいの思いから直売所建設を決意。JAに農地の集約相談や出荷をしていたことから、建設資金を申込。借入に関しては経営に負担のない、きめ細やかなアドバイスをいただき完成した『農産物直売所 LOCAL』。自ら栽培した果樹や野菜、加工したドライフルーツなどを並べている。さまざまなお客様の憩いの場になってほしいとの思いからテラスに休憩スペースを設置、カウンター席には充電に利用いただくコンセントを付けることで、ゆっくりとくつろげる空間を大切にしたい。

今後も、わくわくするようなアイデアを形にしていこうと、農地や直売所がお客様の笑顔あふれる場所としていきたい。